一般質問の要旨

第３回定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。
なお、※印の用語は４・５面に解説を掲載しています。スマートフォンなどの端末で、タイトル内の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。

市長の政治姿勢について問う

澤井　慧（自民・維新の会）

問　東京都知事選挙をめぐって、５月28日、都内62の自治体のうち52市区町村長が連名で小池都知事に対して立候補を要請したとの報道について①出馬要請に至った経緯を問う②報道後、市にはどのような声が届いたのか。また、その声に対する市長の受け止めは③これまでの２期８年の小池都政に対する市長の評価は④今後、都政と連携して解決すべき課題と推進したい施策について、市長の考えは。

市長　①６年５月に都知事サイドから選挙に関する各市長の方針について打診があった。市長会会長に相談の上、各市長と自由意思での賛同について意見交換。都議会開始前に市長会の有志等により表明②批判的な意見も多かったが、誰を支援するかの表明は政治活動として認められている③対話の機会や多摩地域への視察が増えたことに一定の評価④区部と多摩地域の公共サービス水準の格差や調布飛行場問題及び基地跡地開発問題等について都と議論を重ねていく。

問　東※京都市町村総合交付金に対する市長の考えを問う。

市長　中身を精査し、増額について今後も交渉を続ける。

問　市長公用車について、現状どのような基準に基づいて運用されているのか。

行経部長　調布市車両管理規程における使用基準を基に運用。

問　ゼ※ロカーボンシティ宣言など前向きな取組を進めている市として、市長公用車の契約更新に当たりどのような車種が検討され、現在の契約に至ったのか。

総務部長　元年は、充電設備等に課題があり、ハイブリッド車を選択。走行性能を維持していることなどから６年に再リース。

市庁舎に設置された電気自動車用の充電設備（公用車用）

二十歳のつどいの充実・京王多摩川駅周辺のトイレとイベントについて

阿部　草太（チャレンジ調布）

問　二十歳のつどいを実行委員会で開催していることは評価しているが、内容は記憶に残るような式だとは感じない。参加者にアンケートを実施しているのか。どのような意見があるのか。

教育部長　アンケート調査では、ダンス等のアトラクションに関しては約８割が「満足」「やや満足」と回答。一方、自由記述欄では「有名人ゲストに来てほしかった」「記念品や抽選会の景品に工夫が必要」との声あり。引き続き、アンケート結果を参考に満足度の向上に努める。

問　二十歳のつどいはグリーンホールで行っているが、収容人数の問題や建て替えの予定がある。今後の開催場所は。

教育部長　今後、グリーンホールを使用できない場合は、実行委員会からの意見も踏まえ、開催場所を検討。

問　ＦＣ東京との関わりや映画のまち調布ならではの思い出に残る景品、有名人を呼ぶことでの内容の充実について見解は。

教育部長　過去の実施結果を参考に実行委員の声をできる限り反映し思い出に残る魅力的な内容となるよう創意工夫に努める。

問　京王多摩川駅周辺の市最古の公衆トイレである「京王多摩川駅南公衆トイレ」の建て替えについての考えは。

環境部長　周辺まちづくりの動向も注視し、老朽化対策を検討。

問　京王多摩川駅周辺では工事により、通行規制がある。花火大会やイベント時に周辺住民や来訪者に迷惑がかからないようにするための連絡体制の構築は。

都整部長　これまで京王電鉄から住民等への工事状況の説明を市は確認。今後はイベント主催者へも適時適切な情報提供要望。

調布市最古の公衆トイレ
「京王多摩川駅南公衆トイレ」

フェーズフリーの取組、エスカレーターの安全な利用について

田中　謙二（自民・維新の会）

問　市は５年度から基本計画にフェ※ーズフリーの視点を位置づけ、取組を進めている。これまでの取組、広報について問う。

市長　職員の理解醸成や各施策での取組検討のほか、鳴門市視察を通じ今後の取組方向を検討。市ＨＰ等での情報発信を行う。

問　６年度、市の生涯学習出前講座に新たに「ご存じですか？フェーズフリーの考え方」講座ができた。市ＨＰにリンクを貼り、出前講座に誘導する工夫があってもよいのではないかと考える。フェーズフリーの概念が市民に広く理解されるため、必要なことについて問う。

行経部長　ハード、ソフト両面の視点から取組を実施し、市民に周知する必要があると認識。市民に対しては、市の取組のほか、出前講座の案内も含め、引き続き、市ＨＰ等の活用を中心とした情報発信や、防災フェアでの周知等に取り組む。

問　６年６月12日、西東京市内のスーパーで発生したエスカレーターでの死亡事故を受け、市民に対してエスカレーターの安全な利用について、改めて啓発が必要ではないか。

生文部長　国や都と連携し、事故の未然防止に向けて、エスカレーターを利用する際の各種注意事項について、市報や市ＨＰ、市公式ＳＮＳなどを活用しながら広く周知・啓発に取り組む。

問　深刻なエスカレーター事故を受け、安全利用条例を制定した自治体がある。エスカレーター安全利用条例制定の可能性は。

生文部長　条例制定に関する国や都の動向を注視し、他自治体による事例も参考にしながら、市民の更なる安全な利用の促進に向けて調査研究していく。

エスカレーターの注意喚起に関するステッカーなどの掲示

超高齢社会の先にある多死社会を見据えた施策事業の準備を

平野　充（公　明　党）

問　死は単に忌避するものではなく人生とともに深く考え向き合うもの。時代は小さな単位の葬儀が主流。単身の方も増える。誰にも迷惑をかけず、生きているうちに市役所で死後のことまで手を打てることは大事な視点。公営の納骨堂や合葬埋葬墓地、更には火葬場設置の必要性も考える時が来ている。多死社会を見据えた効果的な施策事業について、市の考えを伺う。

福祉参事　単身世帯増加等で死後事務を社会が担う必要性の高まりや墓地、埋葬等に関する法律に基づく市町村長が行う火葬等増加見込み。社会全体で尊厳守る弔いの環境整備必要と認識。

行経部長　コロナ禍以降のライフスタイルの変化等で葬儀の形態等弔事全般の考え方は多様化。お墓の管理等に苦慮する方がいると認識。こうした状況を踏まえ、基本計画の推進に努める。

問　バスの減便やルートの廃止が相次ぎ、日常生活が極めて不便に陥る市民が増えている。ここを手当てするのが行政の役割。市民の交通不便解消を図るため①理由を明確にしたタクシーチケット発行を②市が主導しバス会社同士を団結させ効率的な運行で利益を分け合う仕組みの検討や、運転手不足には会計年度職員も考え、連携協力しては。

福祉参事　①高齢者など特に移動が困難な方には支援実施。タクシーチケット発行は課題解決策の一つの考え方と認識。

外・交部長　②市民の移動に伴う困難の解決が求められる一方、バス事業者の厳しい経営環境考慮し、路線バスの持続性損なわない仕組みが重要と認識。課題共有や連携強化が重要。提案の事例参考に仕組みづくりを検討。

千葉県市川市の合葬式墓地
（5,000体埋蔵可能）

凡例
行経部長…行政経営部長　**行経参事**…行政経営部参事　**危管部長**…危機管理担当部長　**生文部長**…生活文化スポーツ部長　**産業部長**…産業振興担当部長
子生部長…子ども生活部長　**子生参事**…子ども生活部参事　**福祉部長**…福祉健康部長　**福祉参事**…福祉健康部参事　**都整部長**…都市整備部長
外・交部長…外環・交通担当部長　**選管局長**…選挙管理委員会事務局長　**監査局長**…監査事務局長